

Retty

2025年9月期

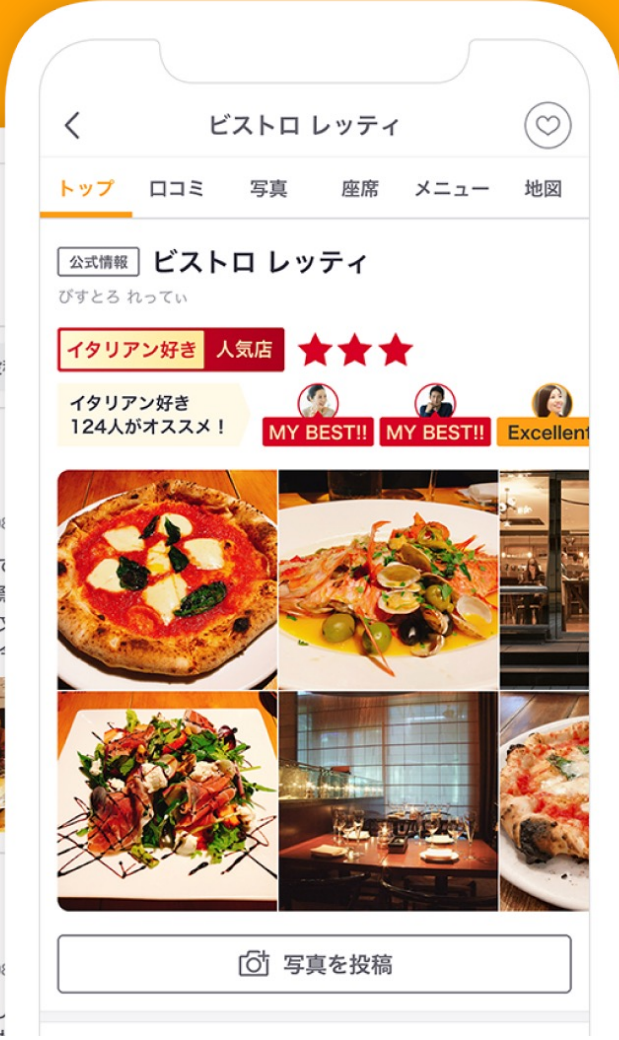
第3四半期決算説明資料

Retty株式会社 2025年8月
証券コード：7356

Service Image



あなたにBESTな
お店が見つかる



Rettyの特徴

信頼できるヒトから、自分にあったお店を見つけることができる

実名型グルメプラットフォーム

実名型



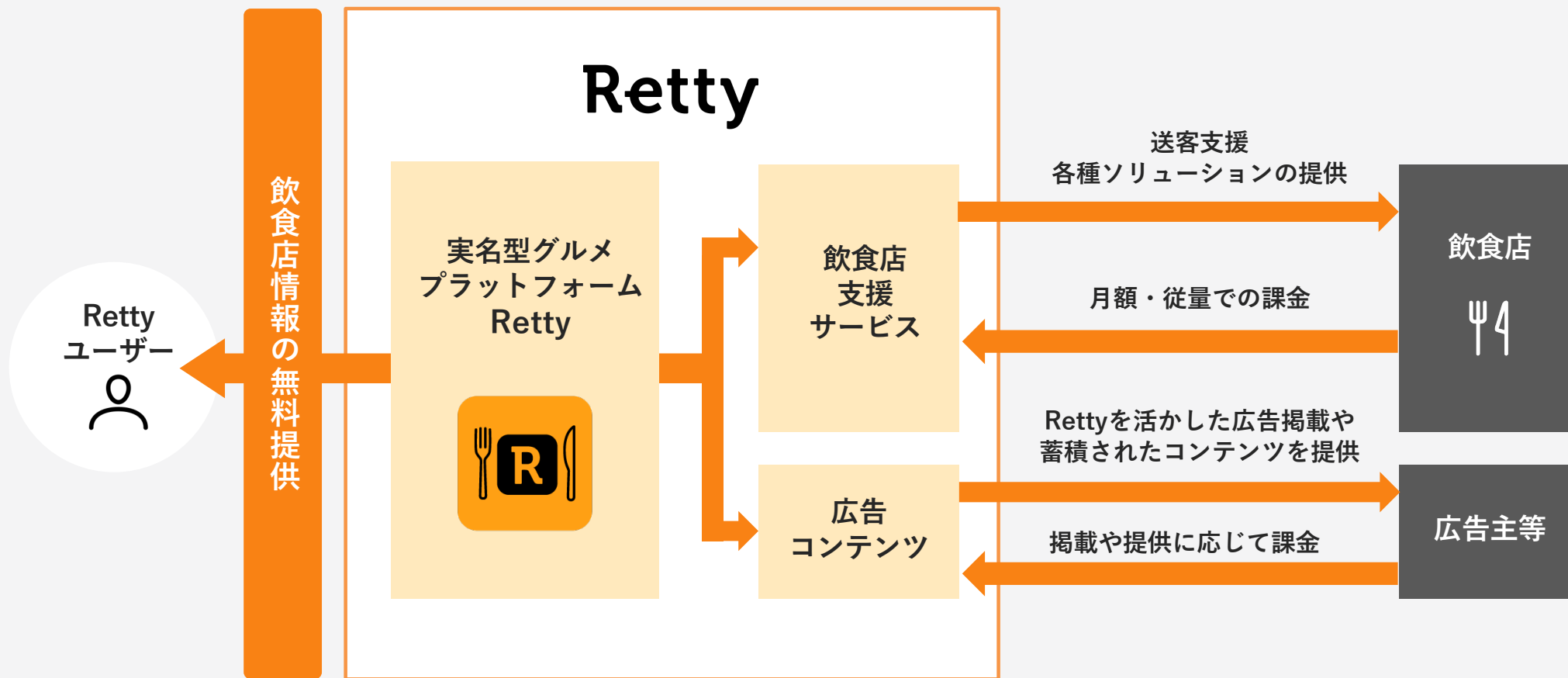
点数評価のない
おすすめの口コミ



「ヒト」から探す



ビジネスモデル



エグゼクティブサマリー

実績

- ✓ 広告コンテンツの売上の一部の第4四半期への期ずれや、好調な採用活動や販促費による一時的なコスト増により営業損益は、第3四半期単体では18百万円の赤字となった
- ✓ 売上（累計）は、飲食店支援サービスにおいては、前年同期比106%、広告コンテンツにおいては同107%となった

今後の成長に向けて

- ✓ 中長期での営業利益最大化を目的としたセールス組織拡充に伴う採用活動は好調（進捗率100%）
- ✓ ネット予約送客人数も続伸（前年比+17%）

業績見通し

- ✓ 上記第3四半期単体での赤字要因は、第4四半期には解消される見込みであるため、業績見通しは売上1,698百万円、営業損益29百万円を維持

目次

1. 2025年9月期第3四半期実績
2. 今後の成長に向けて
3. 2025年9月期通期業績見通し

1 | 2025年9月期第3四半期実績の概況

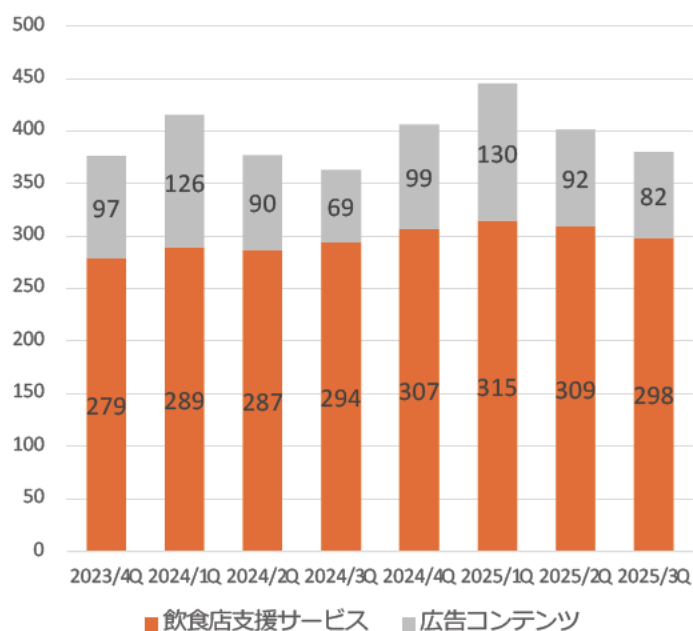
第3四半期単体の売上は379百万円となり、営業損益は-18百万円の着地となった

	FY2024/09					
	第3四半期	YoY	第3四半期 累計	YoY	業績予想	達成率
売上高	379	104.8%	1,227	106.1%	1,698	72.3%
売上総利益	270	109.9%	845	104.5%	-	-
売上総利益率	71.4%	-	68.9%	-	-	-
営業損益	-18	-	0	-	29	0.9%
営業利益率	-	-	0.0%	-	-	-
経常損益	-19	-	-4	-	18	-
四半期純損益	-20	-	-6	-	16	-

1 | 全社売上の推移

飲食店支援サービスの売上は第3四半期298百万円（YoY101%）、広告コンテンツの売上は82百万円（YoY119%）となった

四半期売上内訳推移（百万円）



広告
コンテンツ

- 予定した案件の一部が第4四半期にスライド

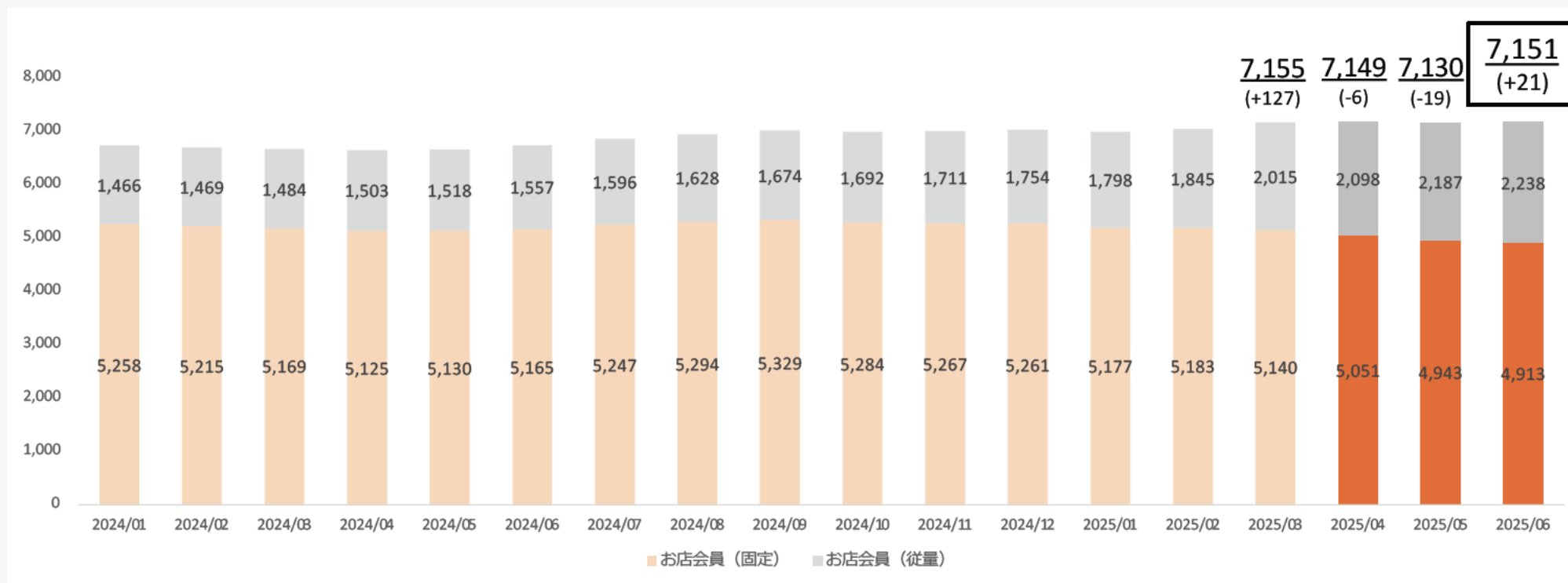
飲食店支援
サービス

- 直販に関しては順調に推移
- 代理店に関しては一部解約率が悪化したため売上が減少

1 | 有料お店会員数推移（月次）

お店会員数に関しては、固定＋従量プランの合計で前四半期末に比べて4件減少した

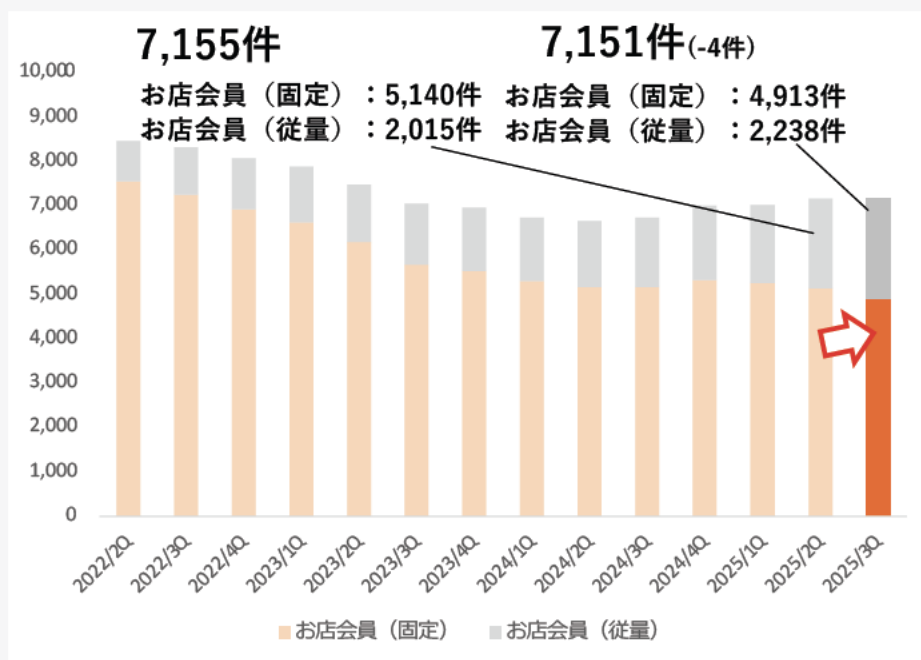
有料お店会員数推移（件）



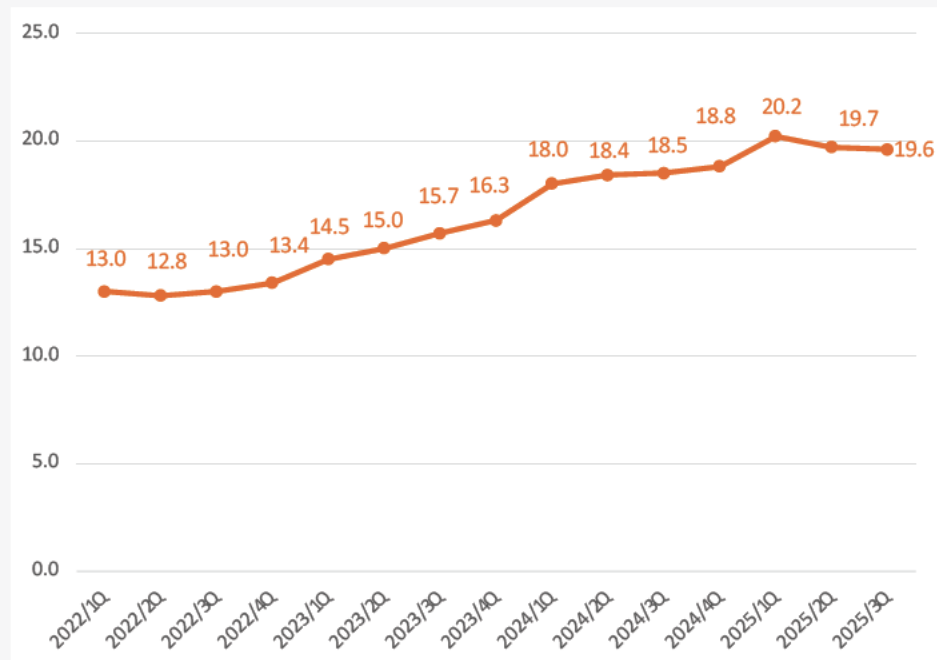
1 | 有料お店会員数推移

2025年6月末時点の有料お店会員数（固定＋従量）は7,151件と前四半期末と比較して4件減少した。廉価な法人プランが一時的に増加したことがARPU上昇の抑制原因に。

お店会員数（固定＋従量）四半期推移（件）



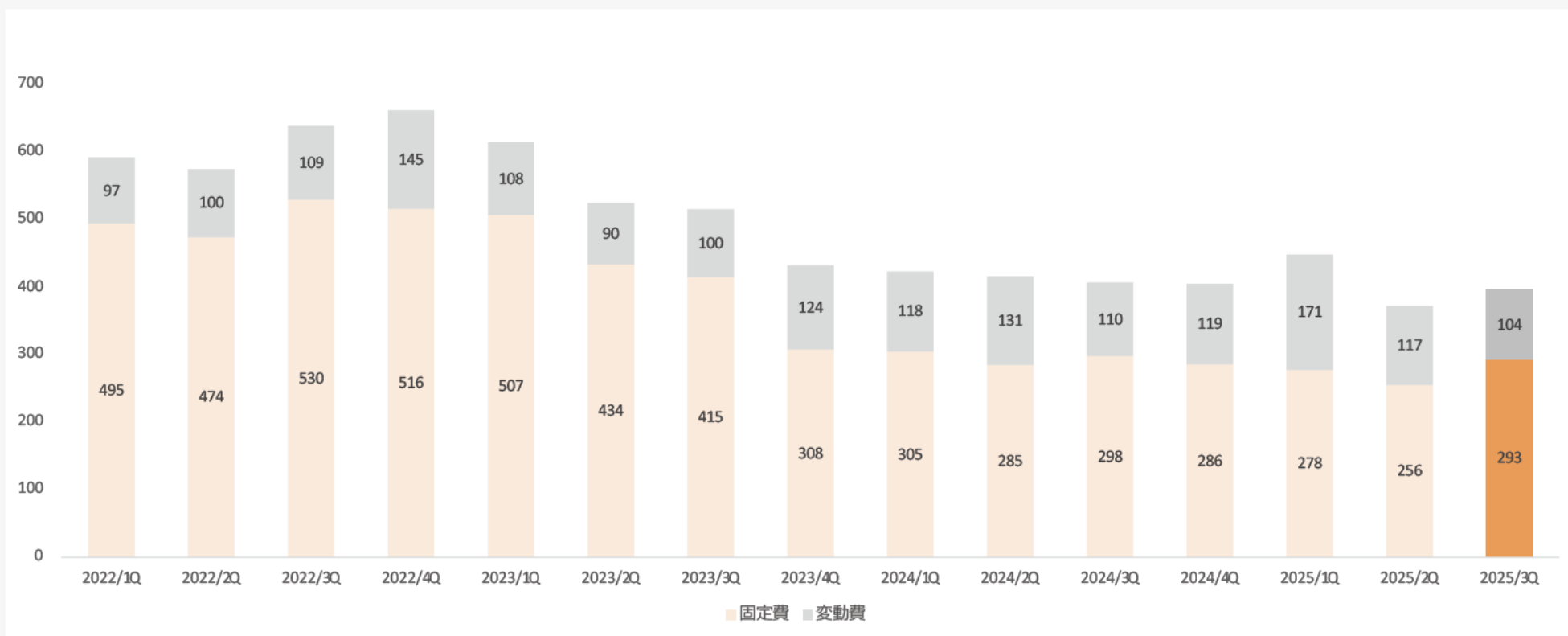
ARPU（固定プラン・PL計上価格/千円）※



1 | 固定費の維持

人件費の適正化、オフィス移転などの抜本的な施策により固定費削減を実現し、筋肉質な経営体制を維持。第3四半期は好調な採用活動の結果、人件費が上昇。

四半期コスト推移（百万円）



1 | ネット予約送客人数の推移

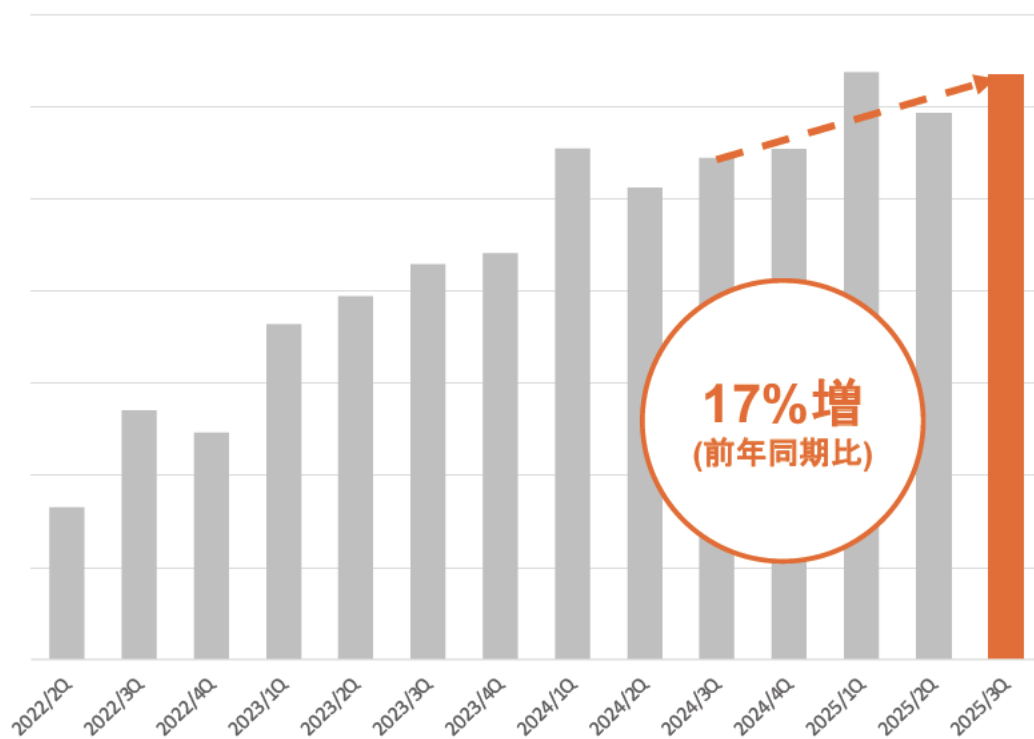
当社の最重要KPIであるネット予約送客人数は、サービス改善による利便性向上等により、**投資や人件費を抑制しながらも前年同期比で平均+17%の水準となり、継続した増加傾向にある**

サービスの改善によるユーザー数の増加

ネット予約を利用するユーザーの利便性最大化を狙ったUIの改善を継続して実施し、ユーザー数が増加



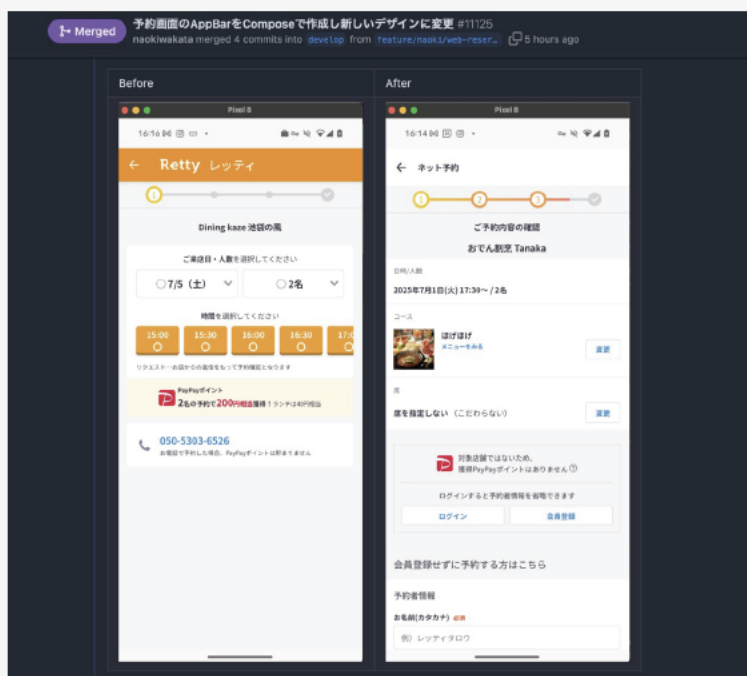
ネット予約送客人数の推移



1 | 生成AIの導入状況

各種生成AIを利用して、開発やオペレーションの効率化を実施

Devinを使ったアプリデザイン修正の効率化



https://engineer.retty.me/entry/retty_android_devin

Retty

ChatGPTを使ったお店ページ作成の効率化

47%工数削減！

生成AI をパートナーに
すばやく魅力的に
お店ページをつくる

Retty



https://note.com/retty_inc/n/necb864e424d6

1 | キャンペーンの実施

Rettyを通じて対象店舗にネット予約・来店された方に、1,000円相当のPayPayポイントをプレゼントするキャンペーンを実施、大好評となり想定よりも早いタイミングでキャンペーン終了



1 | TOPユーザー

全国69エリア・料理42ジャンルそれぞれのグルメに詳しいRettyユーザー111名が2025年「Retty TOP USER」に就任

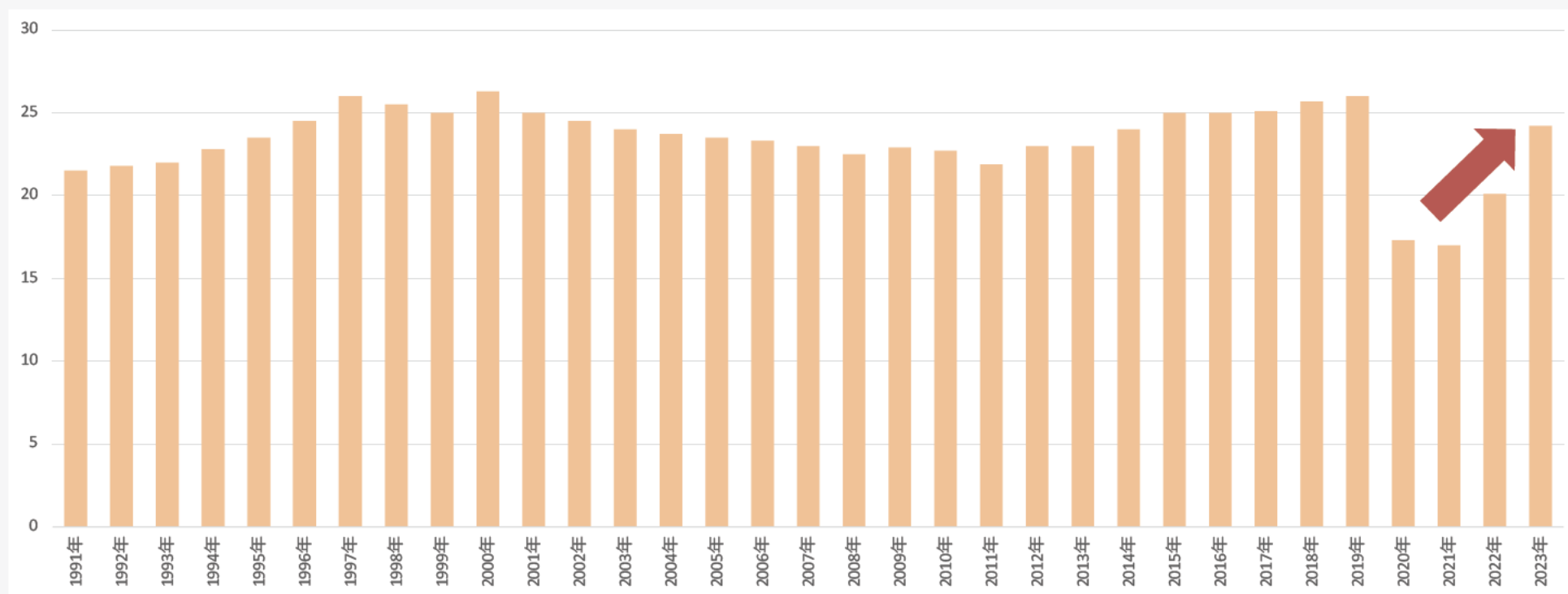


目次

1. 2025年9月期第3四半期 実績
2. 今後の成長に向けて
3. 2025年9月期 通期業績見通し

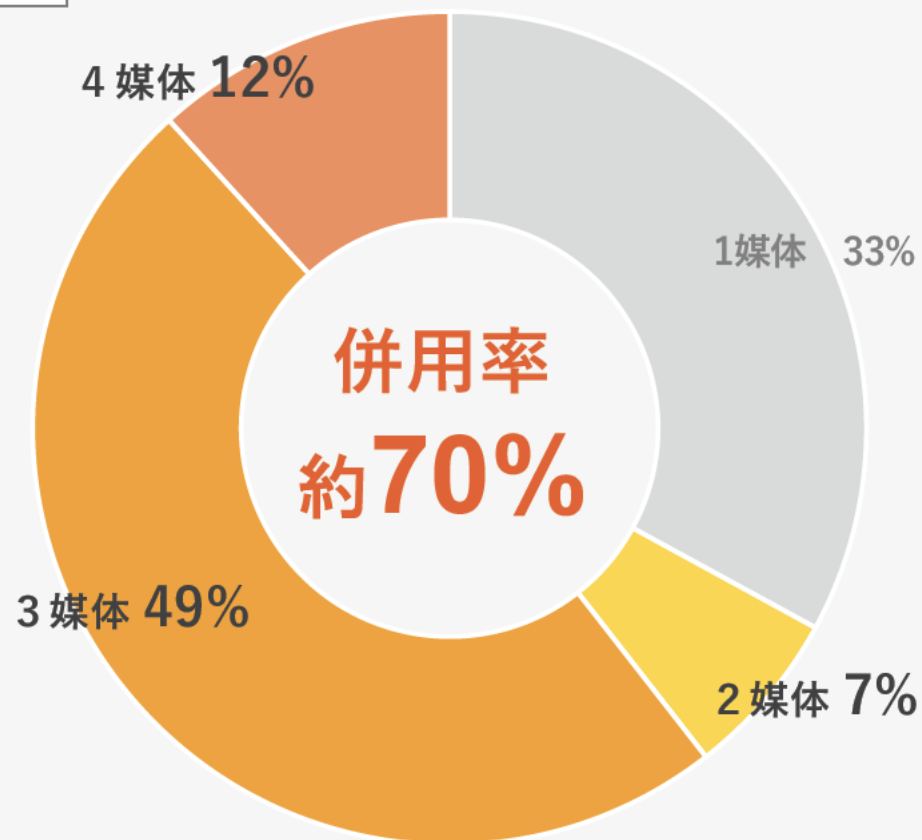
2 | 外食市場の回復

外食市場は新型コロナウイルス感染症の影響もあり2020年に急落したものの、2023年にコロナ前の水準近くまで回復し、市場規模は約24兆円に



2 | 併用される集客支援サービス

飲食店における集客サービス導入数※



2 | 今後の成長に向けた方針

今後は投資タイミングにより四半期単位での営業利益のボラティリティは発生する可能性もあるが、**中長期での営業利益最大化のためセールス組織への投資**を業績予想の範囲で実施していく

2025年9月期の方針

ネット予約人数の増加
を中心としたLTVの増加

- 先行指標としてのネット予約人数は大幅に増加しており、今後もお店発見・予約体験の磨き込みによりこの成長を維持・加速
- Rettyのコアユーザーが求めるジャンル・エリアでの予約可能店舗の増加

セールス組織への投資
による新規参画店舗数増加

- 2024年9月期において、再現性のある形で伸ばすことに成功した直販チャネルを中心に、今後も継続して強化し、有料お店会員数の積み上げを目指す

広告コンテンツにおける
ナショナルクライアント
との取り組み強化

- 2024年9月期において、大型受注につながったナショナルクライアントとの関係を強化し、当社アセットを活用した取り組みを推進

2 | ネット予約送客人数の増加を中心としたLTVの増加

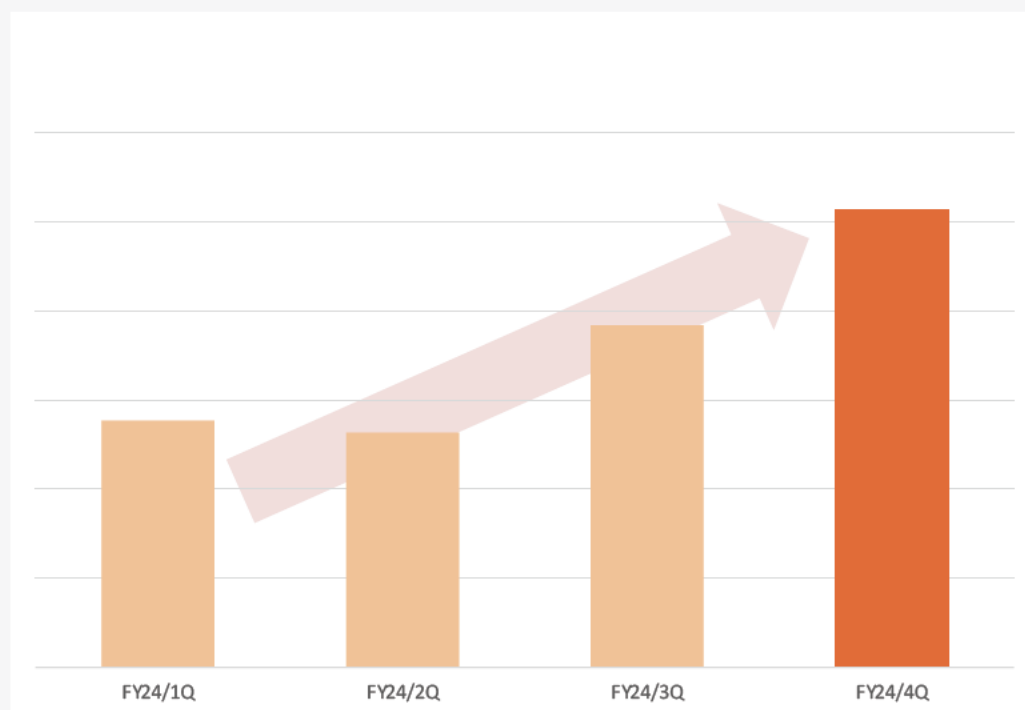
Rettyユーザーに特に求められるジャンル・エリア・特徴のある店舗の予約在庫を増やすことと、
お店発見・予約体験の磨き込みの両軸でネット予約送客人数の増加を目指す



2 | 直販の成功と今後の投資

24年9月期に伸ばすことに成功した直販チャネルに関しては、1年ユニットエコノミクスでも目標基準※以上に転じており、再現性を活かして今後も強化し、お店会員店舗数・売上の増加を目指す

直販チャネルによる新規参画店舗数推移



成長要因

新卒入社社員の早期戦力化成功

アライアンスなどによる
効率的なリード獲得体制の実現

複数店舗運営法人からの
コンスタントな受注積み上げ

2 | 直販の成功と今後の投資

2025年9月期の業績予想で開示している営業利益を下回らない範囲でセールス組織への投資を行う方針だが、採用活動は好調

今後のセールス組織
への投資方針

- 2025年9月期の業績予想で開示している営業利益を通期で下回らない範囲で人員強化を中心とした投資を徐々に行う
- 通期でのコントロールとするため四半期によっては営業利益が低い四半期も許容する

セールス・カスタマーサクセス・アポイントターなど
合計20名の採用

進捗率

100%

2 | 広告コンテンツにおけるナショナルクライアントとの取り組み強化

FY24に成果の出たナショナルクライアントに対する多様な価値（データ提供・飲食店アセット活用・サービス開発等）を組み合わせたソリューションを今後も継続して強化

実績のあるナショナルクライアント例（業界）

不動産ディベロッパー

飲料メーカー

鉄道会社

カード会社

アミューズメント会社

（一部抜粋）

Rettyの提供価値

データ提供

飲食店アセット活用

サービス開発



目次

1. 2024年9月期第3四半期 実績
2. 今後の成長に向けて
3. 2025年9月期 通期業績見通し

3 | 2025年9月期 通期業績見通し

第3四半期単体での赤字要因は、第4四半期には解消される見込みであるため、業績見通しは売上1,698百万円、営業損益29百万円を維持



補足資料



マネジメント紹介

代表取締役
執行役員CEO



武田和也

2010年にRetty株式会社を創業。創業前は、株式会社ネットエイジ（現ユナイテッド株式会社）にて、インターネット広告の販売などマーケティング関連事業に従事。退社後起業準備のために米国西海岸に滞在。帰国後日本が世界に誇る食文化の興隆に貢献すべく、共同創業者の長束と共にRetty株式会社を創業。

Retty

取締役
執行役員 コーポレート担当



長束鉄也

Retty共同創業者。開発と初期グロースを担当後は、HR領域を担当し、現在はコーポレート全般を管掌。

社外取締役

取締役
執行役員 セールス部門担当



川野寛治

ホームページ制作・運営会社で営業部門の責任者や複数部門の部長を経て、2016年Rettyに入社。

社外取締役
監査等委員

執行役員VPoE
プロダクト部門担当



常松祐一

キヤノン株式会社での研究開発員を経て、2019年にRettyへ入社。開発責任者を勤めた後、現職。

社外取締役
監査等委員

執行役員
事業統括担当



長井 寛徳

大手IT企業で営業/CS/経営企画を経て、Rettyへ入社し、事業統括として全社の予算編成及び予実管理を担当。

社外取締役
監査等委員



平尾丈

2005年リクルート入社。じげんの前身となる企業を設立し、MBOを経て独立。2013年東証マザーズ上場、現在は東証プライム市場。



三嶋麻佑子

公認会計士。大手監査法人を経て、個人事務所を開設。複数社の社外役員を務める。



森一生

代官山綜合法律事務所の代表弁護士として、スタートアップ・ベンチャー企業法務に特化。株式会社出前館ほか複数社の社外役員を務める。



上原祐香

メリルリンチを始めとする日米複数の証券会社にてIPO、株式市場等を活用した資金調達を担当する部署の責任者を歴任。

飲食店に提供する顧客基盤構築を可能とするソリューション



新規集客

ストック

アクセスアップ

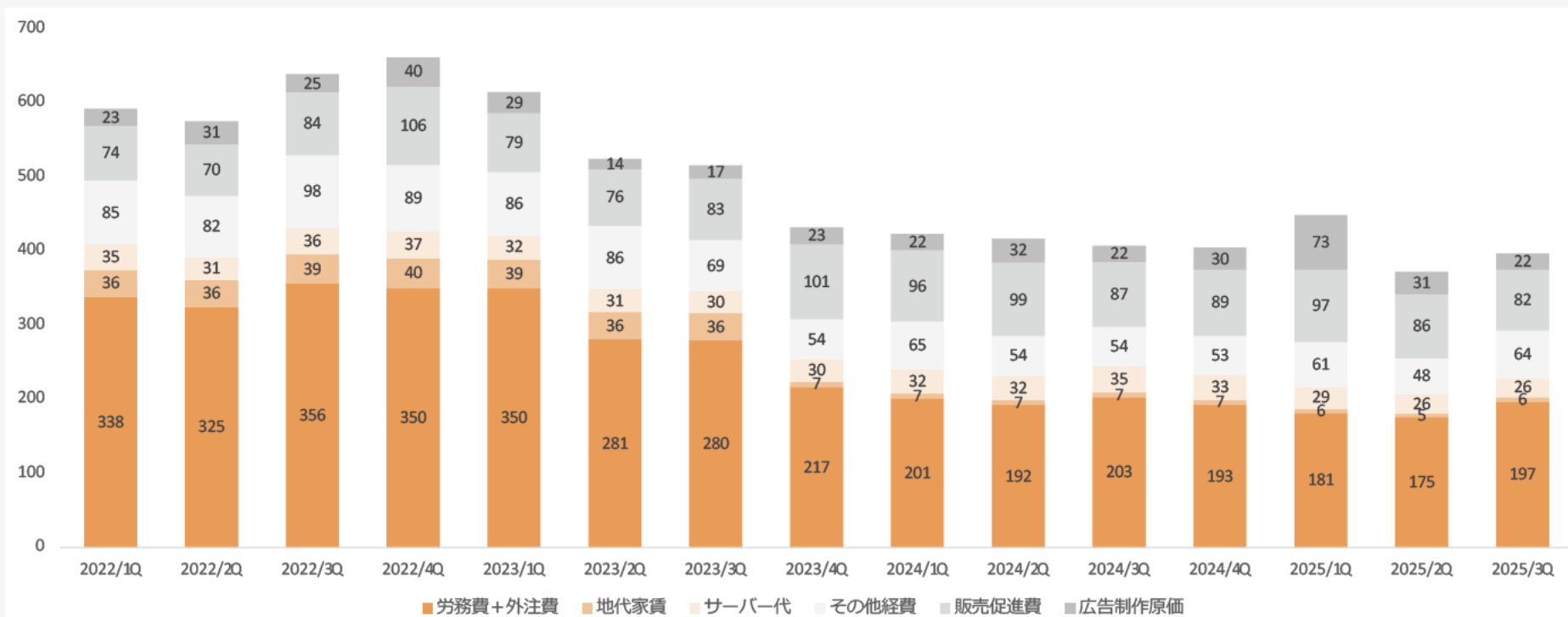
来店

顧客管理

リピート集客

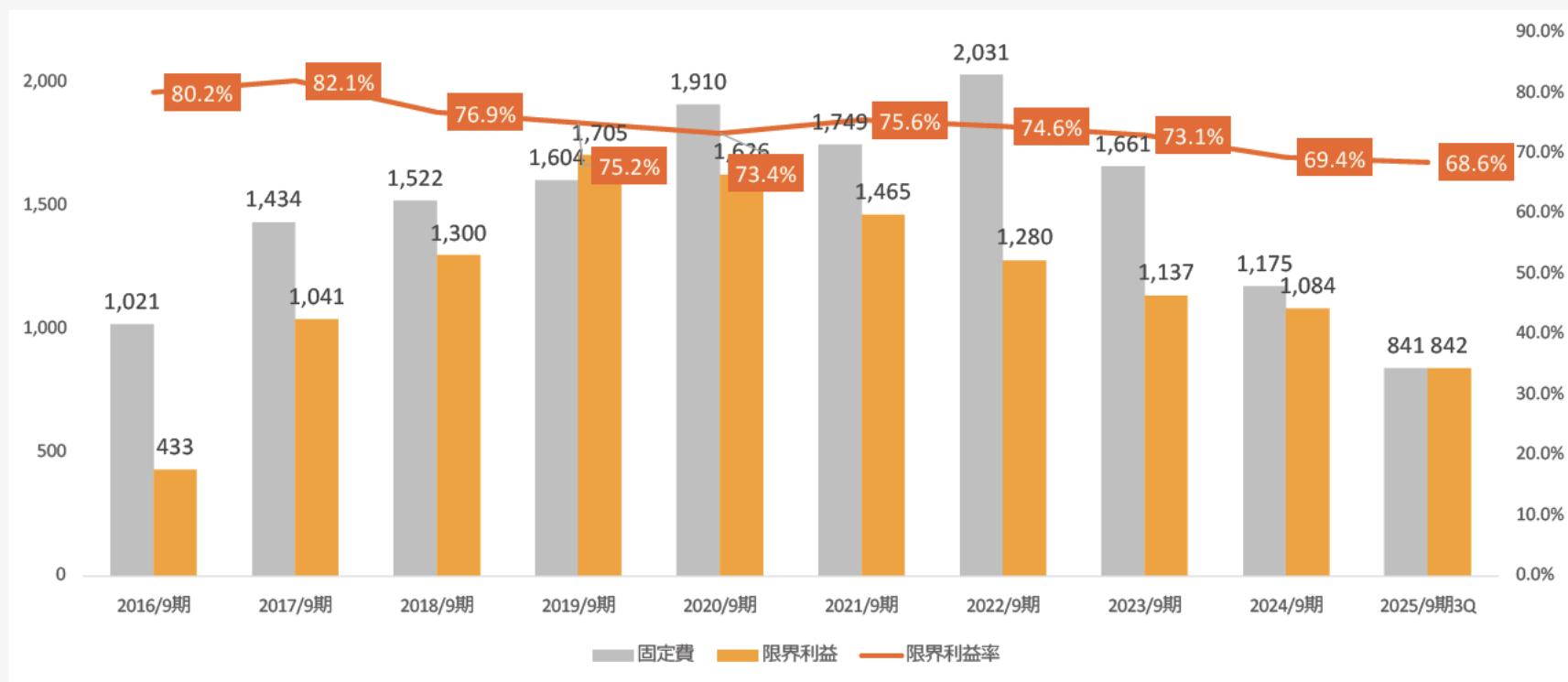
コスト構造の推移

四半期コスト推移（百万円）



限界利益推移

限界利益※1、固定費※2（百万円）、限界利益率の推移



※1 限界利益は、売上高から変動費を差し引いた数字となっております。変動費は、広告コンテンツの制作原価である制作費、飲食店支援サービスの販売代理店に対する手数料である販売促進費の合計としております。

※2 固定費は主に人件費、通信費（サーバー費用）、地代家賃などの変動費以外のコストとなっております。

RettyにおけるESGへの取り組み

有識者からのアドバイスも踏まえ、当社のESGに対する考え方や取り組みをまとめ、コーポレートページ上で公開

当社のESGに対する考え方

当社の「新たな『食体験』を創り上げ、人生をもっとHappyに。」というビジョンに基づいて事業活動を推し進めていくことが、環境問題や社会課題の解決に貢献できるものと考えております。全ての人々に深くかかわる食という領域をテクノロジーによってアップデートすることで、サステナブルな社会を実現してまいります。



<https://corp.retty.me/esg/>

会社概要(2025年6月末現在)

会社名

Retty株式会社

本社所在地

東京都港区芝公園2-10-1住友不動産芝園ビル

設立

2010年11月

資本金

39百万円

従業員数

89名

上場取引所

東京証券取引所グロース市場

証券コード

7356

Retty

Disclaimer

本資料は、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。